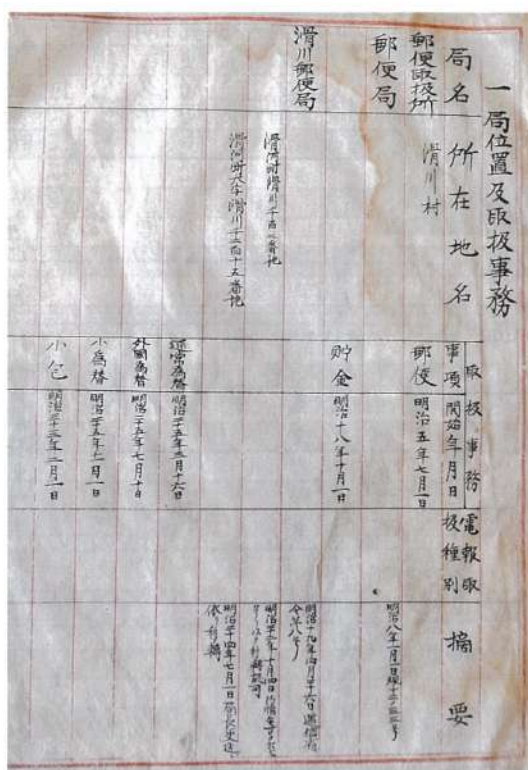
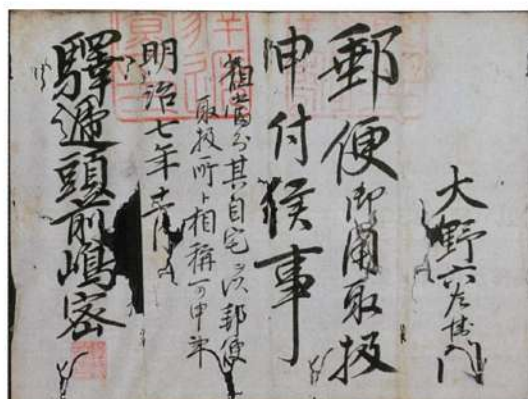


令和7年3月

成田市下総歴史民俗資料館 〒289-0108 千葉県成田市高岡1500 TEL, FAX 0476(96)0080 登録番号 成教生24-030

旧滑川郵便局資料の続報

滑川郵便局は『下総町史』通史・近現代編の卷末年表に明治5年7月開局と記されるだけで古くから香取郡西部の中核をなす郵便局として、青柳家が創業家として周知されていました。昨年10月に青柳家長屋門解体に伴い大量の郵便・通信事業資料の発見後、同家の寄贈資料の再点検の結果、目録未作成資料や未整理のダンボール箱の発見、青柳家の資料とは別に明治7年11月開局の高岡郵便局取扱所の辞令などの新たな資料が見つかりました。



(1)辞令一駅通頭前嶋密の郵便御用取扱申付書(明治7年11月) (2)局務記録原簿の第1項の局位置
及取扱事務 (3)局務記録原簿の第9項の郵便函場(ポスト)一覧 (4)局務記録原簿の第2項の郵便
局長

資料の現況―長屋門の天井裏から取り上げた資料は、土嚢袋一七〇袋と資料が裏張りされた3枚の襖である。

天井裏の資料は、竹を長方形に編んだ籠状の蚕箔さなぎば上にあつたものと、直接床に置かれたものがあつた。天井裏の隅の床に直接置かれた文書は劣化がひどく、持ち上げると粉々になるほどの状態であつた。また、資料全体が大量の埃・塵・砂等で覆われており、6年度は30袋を除去した。除去した資料は大部分が明治30〜40年代を中心とする文書であつた。

【主な展示資料】

辞令―明治7年11月、駒込頭前嶋密が大野六左衛門に自宅を高岡郵便局取扱所とする任命辞令である。

局務記録原簿―表題が剥がれ資料名は原簿の目次からとった。明治―大正期の滑川郵便局の業務内容や従事者などが書かれた記録原簿で、滑川郵便局の業務全般・構成員を伺える重要な資料である。第1―19項からなり、局務記録原簿によれば、明治5年7月1日に郵便取扱所開設、明治5年5月23日に富澤五一郎が滑川郵便取扱所に任命されている。

貯金業務は明治18年10月1日、明治25年には通常為替、外国為替、小為替業、明治33年2月には小包郵便事務の開始が記されており、集配人、逓送人、通信事務員、集配区域、切手・ハ